

郷土紹介

水道

新玉川線用賀駅から通称美術館通りを北に向い、最初に機切の舗装道路は、もと水道みちと呼ばれていました。

町へ水道を引く爲の鉄管を埋設した時に出来た道だからです。そして、この道の所々には二、三本の石杭が立てられ、人は通行できましたが、水道管保護の爲、車は進入出来ませんでした。渋谷水道は大正十年五月に起工、同十三年三月に完成した水道で、多摩川の水を砦下淨水場に取水し地下管で岡本、瀬田、用賀、桜新町を通つて荻巻の駒沢町

水場に送られ、この二基の給水塔から茨谷方面に配水されていました。

この水道は、当初、渋谷町の町営水道でしたが、昭和七年、市郡合併時に東京市に移管されました。

「水道みち」はこの辺りの区画整理工事に際し拡張されましたが、その後も、人が通る場所以外は草が生え石杭もそのままでした。

そして、昭和四十年代に入り用賀地区の開発に伴いこの水道みちは舗装され、両脇にビルが建ち並ぶ様になりました。

今、真福寺や無量壽の参道に面した立派な車道となりこの道を水道みちと云う人は少なくなりました。



 (飯田)



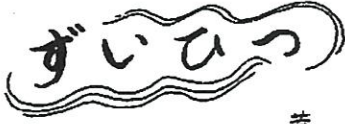
心のふさふさとして 瀬田

瀬田三目 徳武 淑子
今日、瀬田も時代と共に
目ざましく変ぼうしつつあ
る。

中国から帰国し、瀟田に住んで六十年。かつては、あたり一面の畑、森、雑木林の向うは根っこ坂、下は沼地と閑静な農村地帯。

撥八も今の半分以上、荷車が通れる程の砂利道で、雨が降れば泥んこ道になる。轍の跡もくっきりと、馬車公苑からの馬たちの練習コースにもなっていた。

史料によると、瀬田峡（
勢多峡）は、世田谷の起源
とか、ゴ豆相記ゴ豆（戦国期）
その勢多峡の東にあつた世
田谷瀬田城は、今は跡かた
もないが、その一角、行善
寺の急な坂を往き来した人



戦前は、春は蝶の飛び交うキャベツ畑を、初夏は、風になびく麦穂の道を、富士を眺めながら京西小学校へ通ったのも、今は、なつかしい。

行善寺八景一瀬田
黄稻を畝んだ歌に

すいひ

調布をさらす少女 しらけ
も玉川の
せたの稲刈る
ころはきにけり
(江之歌人 佑良)

緑と水の詩情豊かな瀬田も、時代的な発展を願ひながら、やはり、心に残る瀬田村をなつかしんでいる。

社交ダンスを楽しむ

江口 久蔵

五川台民センター話し
方教室会長の上畑久夫妻よ
り是非と勧められ、三軒茶
屋サークルに見に行く。
もう随分先に進んでいて、
キーバンルンバのレッスン中。
さっぱり分からずとても
無理とわかる。仕方
ないから個人レッスンを
受けながら仲間入りす
ることとなった。

通つてみるとこれまた初歩のステップも容易でない。また間違つたと汗をかきかき習ひ続ける。和のみならず、覚えろつて大変。個人レッスンはお金もかかる。途中下車する人もかなり多い。一年が過ぎ、よたよたしながらもどうやら一緒にくつついてきた顧

趣味広場

みの上畑さんが病に倒れてしまふ。いそやめちやかう。待つて、石の上には廿三年、一年足らずでしっぽを巻いてはと思ひ直す。

男性は女性の三倍大変といふ。リードしながら、女性の通り道をあける紳士淑女が、駄目駄目、それではまだ初級、言われ続けてもう六年、タンヌも運動のつもりと、週二回、汗をかきかき、通い続けている。

最近、少し理解出来るようになった。
だから
ちよつと待つて
そのうちに
「社交ダンスを教へる」
能書きを
言わせて貰うから。

能書きを

久松義典

- ①用賀4丁目くすのき公園
7月25日(火) 26日(水)
②玉川3丁目高梁下店場
7月28日(金) 29日(土)
③瀬田小学校
7月29日(土) 30日(日)
④用賀小学校
8月18日(金) 19日(土)
児童映画会
⑤瀬田小学校体育館
8月5日(土) 6時から
⑥用賀自由ヶ丘生花市場
8月9日(水) 7時から
⑦用賀区民集会所
8月24日(木) 3時から
⑧上用賀アートホール
7月31日(月) 10時から
たまがわ花火大会
8月26日(土)



昭和二十年八月十五日、あのいまわしい戦争も終つて五十年。人それぞれ思い出があり、その思い出を本号で綴って頂きました。

小学校の校庭は子どもの遊び場不足から開放され、PTAで出来た方反達の輪も広がりしました。社交ダンスを寮しむ江口さんに拍手。二十一世紀も間近か、これからどうなるか？若い人達に期待します。